



学校通信

令和7年10月31日
東京都立葛飾盲学校長
竹内 大吾
(第7号)

「“なりたい自分”の実現に向けて」

校長 竹内 大吾

10月18日(土)の運動会では、沢山の保護者の皆様に御来場いただきありがとうございました。日々の練習の成果を発揮するお子様の成長した姿を御覧いただけたかと思います。さて、本校の幼稚部は、10月に2名の転入生を迎えました。総勢8名となった幼児たちの姿は、小・中学部の児童・生徒にとって、先輩としての自覚を自然と促させるものであります。また、運動会当日の昼休みに、校内では、小学部の児童たちから、中学部の徒競走や演技が、かっこよかったという感想が聞こえてきました。

このように、幼・小・中学部がある本校では、上の学年や学部の先輩の姿は、下級生にとって、こうなりたいという憧れのモデルになっていきます。

文部科学省の生徒指導提要では、将来の自己実現のために、「自己指導能力」を身に付けることが大切であると記載されております。この「自己指導能力」を分かりやすく説明すると、今の自分を正しく見つめる「自己理解」があり、その上で「なりたい自分」に向かって様々な選択をしながら目標を決定し、目標の実現のために、他人を尊重しながら、自発的・自立的に行動していく力になります。ここで、大切なのは、「自分になりたい、やりたいこと」を実現する過程の中では、他人に及ぼす影響や周囲からの反応を考慮したり、望んだ結果にならなくても真摯に受け入れたりしながら、集団や社会の一員として認められていく経験をしていくことです。

友達との関わりや集団としての行動を通して、社会や集団の一員としての「自分らしい生き方」や「なりたい自分」を見付けて目標とし、そこに向かって努力し、行動する経験を積むことができるのが、学校のもつ集団性の良さです。そのため、多くの友達と関わって活動できる全校行事や学部行事等の意義は大きいと考えます。

今年の運動会での全校ダンス「ゆいゆい」の「ゆい(結い)」は、人とのつながりや助け合いを意味します。新しい仲間を迎え、これからも、葛飾盲学校の子供たちは教職員や友達とのつながりを通して、成長していきます。

「運動会が終了しました」

10月18日(土)に、令和7年度運動会を実施しました。雨が続けていたため、グラウンドでの実施が心配されましたが、当日は心地良い秋晴れの中、無事行うことができました。開会式の選手宣誓・エールでは、5名の児童・生徒が、堂々と大きな声で行い、会場を大きく盛りあげてくれました。徒競走・学部演技・全校ダンスにおいても、一生懸命練習してきた成果を、存分に発揮することができ、みんなとても嬉しそうでした。この経験を、今後の学校生活に生かしていきます。

御参観くださった皆様、本当にありがとうございました。次回の運動会も、ぜひ御参観ください。

(文責：運動会担当 小松崎 洋介)

